令和４年度　第 32 回東北専門学校サッカー選手権大会
開 催 要 項

1　名　　称　2022 年度東北専門学校総合体育大会
第 32 回　東北専門学校サッカー選手権大会

2　目　　的　サッカーを通じ、学生の心身の健全な発達、体力の向上及びスポーツ精神の高揚を図り、併せて専門学校の教育の充実、親睦に寄与することを目的とする。

3　主　　催　公益財団法人日本サッカー協会
全国専門学校サッカー連盟　東北専門学校サッカー連盟

4　主　　管　東北専門学校サッカー連盟

5　後　　援　宮城県専修学校各種学校連合会、一般社団法人東北サッカー協会、一般社団法人宮城県サッカー協会

6　協　　賛　㈱モルテン、㈱T-LIFE ホールディングス

7　期　　間　令和４年８月 25 日(木) 、 26 日(金)

8　会　　場　『みやぎ生協めぐみ野サッカー場 A グラウンド』
（住所：宮城県宮城郡利府町森郷内ノ目南１１９―１）　TEL0223-56-6581

9　出 場 資 格
① 全国専修学校各種学校総連合会加盟の専門課程在学中の学生で構成されたチームであること。
② 公益財団法人 日本サッカー協会及び全国専門学校サッカー連盟に加盟・登録を７月末まで完了したチーム及び学生であること。（登録完了とは JFA 登録及び登録費の納入を持って完了とする）
③ １登録１チームに限定する。尚、１校から複数チームが出場する場合は、別途定める規定を満たすこと。
④ 出場に関しては最大４年までとし、別途定める登録不可期間（注）に該当しない学生であること。
（注）すでに当連盟に登録されている（いた）選手が卒業・退学・転校後、他校にて登録する場合は専門学校連盟主催大会に関して１年間の出場停止期間を設ける。
⑤ 外国籍選手の登録は４名以内とし、試合に出場できる人数はその中から常時２名以内とする。

10　参 加 制 限
① 大会の出場チームは各地域連盟から選出された学校とする。
② チームは、部長１名、監督１名、コーチ１名、トレーナー１名、マネージャー２名、選手３０名を限度とし登録することができる。尚、部長・監督に関しては当該校の常勤職員でなければならない。

11　競 技 方 法
① 試合はノックアウト方式のトーナメント戦で行い、優勝・準優勝を決定する
② 競技時間は９０分間（前後半各４５分）とする。後半のキックオフ時刻は前半終了より 15 分後とする。但し、この時間内に勝敗が決しない場合には競技時間を 20 分間延長し、勝敗を決定する。競技時間内に勝敗が決定しない時は、ペナルティーキック方式により勝者を決定する。
③ 危機事象（地震・雷等）発生時による試合中止については、中止を決定した時点での得点経過をその試合の最終結果とする。中止を決定した時点で同点の場合は抽選にて勝敗を決定する。
※試合中断・中止・再開（決定責任者）：①主審・②マッチコミッショナー・③大会運営責任者
注）競技規則上では「試合の中止は審判の判断で行う」とあるが審判員が気づかない可能性もあり、マッチコミッショナー・第４の審判員・大会運営責任者の連携を密に保つこと。

12　競 技 規 則　① 公益財団法人 日本サッカー協会「競技規則 2022/2023」による。

② 出場するチームは JFA 選手登録 HP から出力した選手一覧表（カラー写真付き）を、選手は在籍校発行の学生証を携行し、試合開始前の選手チェック時に本部役員に提示、確認を受けること。尚、確認を受けていない選手は試合に出場できないこととする。

③ 選手交代は、試合開始前に提出したメンバー表に記した交代要員９名のうち５名までとする。

④ 各チームは最大３回の交代回数を使うことができる。また、これに追加してハーフタイムにも交代を行うことができる。

⑤ チームが最大の交代要員数または交代回数を使わなかった場合、使われなかった交代要員数及び交代回数は、延長戦で使うことができる。

⑥ 延長戦においてはさらにもう１人の交代要員を使うことができる。

⑦ 交代は、後半終了と延長戦の間、また、延長戦のハーフタイムにも行うことができる。ここでの交代は交代回数を用いたとしてカウントしない。

⑧ 大会期間中、警告処分を受けた回数が通算２回となった選手は次の１試合を出場停止、以後の試合については規律委員会で審議し、出場の可否を決定する。規律委員会は、全国専門学校サッカー連盟及び東北サッカー協会役員で構成する。

⑨ 本大会は天然芝及び人工芝ピッチにて行う。尚、人工芝ピッチについては原則ＦＩＦＡのサッカー芝品質コンセプトまたはＪＦＡロングパイル人工芝ピッチ公認基準を満たさなくてはならない。

13　監 督・主 将　・令和４年７月 29 日(金)　18：00～　会場：Zoom によるオンライン会議

会議　・監督、主将が必ず出席すること。

※やむを得ぬ理由により監督・主将の出席が不可能な場合は、事前に理由書ならびに代理人氏名を大会事務局へＥメール、ＦＡＸまたは郵送で届け出ること。

14　閉　会　式　令和４年８月 26 日(金) 決勝戦終了後、試合会場にて行う。

15　そ　の　他　① ユニフォームは公益財団法人 日本サッカー協会ユニフォーム規定に準ずる。試合ユニフォームは正・副２着を用意し、マッチミーティングにおいて審判が決定する。

② 正・副ユニフォームはシャツ、パンツ、ソックス毎に互いに異なる色とし、審判と同一または類似となる黒・紺系のシャツを用いることはできない。キーパーについても同様であるがフィールドプレーヤーと同色の部分が無いようにする。スパッツ（アンダーパンツ）アンダーシャツの色はパンツ・シャツと同色とする。色が紛らわしい場合は審判と当連盟規律・フェアプレー委員会でチェックする。背番号は正・副とも同一でなければならない。以上を満たしていない場合は連盟の定める規律・フェアプレー委員会により処分を決定する。

③ 参加選手は大会前に健康診断を必ず受けること。なお、選手の健康管理についてはチーム及び個人の責任として、十分留意すること。

④ 試合中の負傷については各チームで応急処置はするものとし、救急車を必要とする場合は大会本部まで申し出ること。

⑤ 期間中における怪我や事故の保険対応については、各出場校で加入している保険で対応すること。

⑥ 初戦の試合開始 70 分前に登録選手（ユニフォーム番号・選手証・学生証持参）の確認行う。

⑦ 試合開始 60 分前にマッチミーティングをマッチコミッショナー・審判・両校監督及び選手代表者立会いの下、連盟が指定する場所において実施する。

⑧ 危機事象（地震・雷等）発生時、危険と判断したときは主催・主管・協会代表者の判断にて躊躇なく中止・中断されることとし、その後の対応（再開・中止・抽選等による勝者の決定）については当連盟の定める運営責任者及びマッチコミッショナーで最終的に判断・決定するものとする。

⑨ 参加チームは次項のルールを遵守すること。

・ソックスのテープは、ソックスの色と同色もしくは透明なものに限る。

・試合前・中・後、競技者は自らシャツの裾を入れるよう心掛ける。

・インナーシャツの袖、タイツ、スパッツは、シャツ及びパンツと同色に限る。

・試合前・中・後及び閉会式では、アクセサリー（装身具）を身に付けてはいけない。

・ソックス内や、テープ等でマスキングしたミサンガも禁止とする。

※試合前・中・後、及び閉会式において、ユニフォームの不備、アクセサリー着用等、大会要項に関する違反が発覚した場合、規律・フェアプレー委員会により懲罰を決定する。

※試合会場利用規則を遵守すること。利用規則に関する違反が発覚した場合、規律・フェアプレー委員会により懲罰を決定する。

※没収試合については違反が認められるチームの 0-5 による敗戦とする。